

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構建築研究本部 北方建築総合研究所
mail magazine【建築研究本部かわらばん】VOL.100 2017/12/21

このメールマガジンは、建築研究本部 北方建築総合研究所が、日頃の調査研究、普及業務などで携わっているニュースを中心に、毎月お送りしているものです。

今月号のトピックス

第100号の内容はこちらです。

■研究紹介

- 「防災スピーカーに影響を及ぼす気象・周辺環境の把握と避難情報伝達システムの提案」（平成29年度研究開発推進費）

■トピックス

- 1月11日(木)旭川で構造計算適合性判定に関する設計者向け講習会を開催
- 平成29年度きた住まいる技術講習会のお知らせ

■最近の研究所の動き

- 構造計算適合性判定センターから

研究紹介

「防災スピーカーに影響を及ぼす気象・周辺環境の把握と避難情報伝達システムの提案」（平成29年度研究開発推進費）

津波や洪水などの自然災害による被害の軽減には、堤防などのハード整備と共に住民を迅速に避難させる避難対策が重要です。避難に関する情報を住民に伝達する手段には、防災行政無線（防災スピーカー、個別受信機）、メール、TV・ラジオなどがありますが、2016年福島県沖地震では、77%の住民が防災行政無線で避難指示を認知し、49%が避難のきっかけとしました。一方、東日本大震災後の調査によれば、約20%の住民が防災スピーカーからの音声を聴き取れなかったことが分かりました。音の強さは風や雪など気象の影響を受けるほか、建物や地形も音の伝わりに影響します。

このような背景から当研究本部では、津波防災対策に係る連携協定を締結した神恵内村の協力により、気象や周辺環境が防災スピーカーから発する音に及ぼす影響について研究を開始しました。村内の複数地点でスピーカーから発する音の聞こえやすさを調べたところ、場所により差があることが分かりました。現在、定時放送の音を測定する装置を村内に設置し、実測調査を進めています。また北総研の敷地内において、スピーカーからの音の伝わりと気象との関係に関する基礎的な実験も始めました。

避難情報の伝達に関しては、津波発生時など高台への避難を促す情報、逆に高台や斜面から避難する土砂災害時の情報、避難解除時の情報など、内容が異なる情報を住民にわかりやすく伝える必要があり、伝わる音の強さと共に、認識のしやすさ、音声の聞き取りやすさなども重要です。音源の開発や複数の情報伝達手段を組み合わせたシステム化など研究上の課題は多数残されており、引き続き研究を進めて参りたいと考えております。

（環境防災 G 堤）

■トピックス

1月11日(木) 旭川で構造計算適合性判定に関する設計者向講習会を開催します

耐震偽装問題を契機とした法改正により適判制度が始まって10年が経過しており、平成27年6月からは建築確認と構造適判は手続きが別になるなど、制度も大きく変わりました。

本講習会は旭川市やその近郊および道北・道東の設計事務所などの皆様が参加しやすいように、初めて旭川で開催することとし、地震防災に関するセミナー・施設見学もあわせて実施いたしますので、構造設計者だけでなく広く建築設計や確認申請に関わる皆様のご参加をお待ちしております。

日 時 平成30年1月11日(木) 13:30~16:20
場 所 旭川市緑が丘東1条3丁目
(地独)道総研建築研究本部北方建築総合研究所 多目的ホール
受講料 無料
申込期限 平成30年1月9日(火)
本講習会は日本建築士会連合会CPD制度認定講習会(予定)です。

プログラムなど詳しくはこちらからご覧下さい。

<http://www.hro.or.jp/list/building/research/nrb/koho/event/180111.html>

(企画課 盛永)

平成29年度きた住まいる技術講習会を全道で開催します

北国にふさわしい住宅の建設促進や、住宅建設に携わる技術者の技術力の向上を図るため、毎年、きた住まいる技術講習会を開催しており、今年度は全道7会場で開催します。きた住まいるサポートシステムに関する講習、当研究本部の研究成果の紹介やリフォーム関連情報の提供など、実務に大変役立つ内容となっております。

<開催日程>

・網走市	1月17日(水)	網走市民会館
・函館市	2月1日(木)	函館市中央図書館
・室蘭市	2月2日(金)	室蘭市文化センター
・釧路市	2月15日(木)	釧路市交流プラザさいわい
・帯広市	2月16日(金)	十勝産業振興センター
・旭川市	2月23日(金)	旭川市大雪クリスタルホール
・札幌市	3月1日(木)	北海道自治労会館

プログラム、申込など詳細はこちらからご覧下さい。(参加費無料)

<http://www.hro.or.jp/list/building/research/nrb/koho/event/index.html>

(企画課 盛永)

最近の研究所の動き

□11月の判定業務

受付 7件(9棟)

結果通知 9件(10棟)

11月の判定依頼は、ホテル等が3件、共同住宅が2件のほか、斎場、事務所が各1件でした。

当判定センターも会員となっている「日本建築行政会議」構造計算適合性判定

部会では、構造計算適合性判定におけるこれまでの指摘内容から「構造計算適合性判定における指摘事項の事例等について」を、同会議構造部会と共同でとりまとめています。この事例集が2年半ぶりに改訂され、11月28日に公表されました。
構造設計に携わる方はもとより、建築確認の申請をされる建築主の代理の方々におかれましても、手戻りの少ない円滑な判定のためにご一読いただければと思います。事例集は、以下の「日本建築行政会議」HPよりご覧下さい。
<http://www.jcba-net.jp/>

(構造判定G 千葉)

年末・年始休業のお知らせ

建築研究本部北方建築総合研究所の年末・年始の休業日をお知らせします。

●年末 平成29年12月28日(木)まで平常業務

●年始 平成30年1月4日(木)より平常業務

平成29年12月29日～平成30年1月3日は休業とさせていただきます。

編集後記

おかげさまで、「建築研究本部かわらばん」は今号で100回目の配信となりました。2008年に「北方かわらばん」として創刊以来、多くの皆様にご愛読いただき、心より感謝申し上げます。これからも道総研建築研究本部の建築・まちづくりなどに関する様々な情報をお届けしてまいりますので、ご支援よろしくお願いいたします。

バックナンバーはこちらからご覧になれます。

<http://www.hro.or.jp/list/building/research/nrb/koho/newsletter/newsletter.html>

=====
管理者からのお知らせ
=====

アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記の各種お問い合わせ専用アドレス宛てにメールにてお知らせください。

登録内容の変更や配信停止は、下記のアドレスをクリックしていただき、ホームページ上で手続きを行ってください。クリックしても正しく表示されない場合は、アドレスをコピーしてブラウザに貼り付けてご利用ください。

メールアドレスの変更、配信停止の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がございますので、ご了承ください。

■購読申込・変更・配信停止はこちら

https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_n

変更・配信停止の場合は、ご意見、ご質問欄に「変更」または「配信停止」と記載してください。

■各種お問い合わせメールフォーム

https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_q

ご登録いただいた情報は、メールマガジンの配信及びイベント情報の配信を目的として利用し、それ以外の目的に使用することはありません。

発行：(地独)北海道立総合研究機構 建築研究本部

<http://www.hro.or.jp/list/building/research/nrb/index.html>